

第143回

2020. 11. 19

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 290社、回答企業 185社、回答率 63.8%
調査対象期間	2020年7～9月期の実績、10～12月期および2021年1～3月期の予想
調査時点	2020年10月上旬～下旬

要約

2020年7～9月期の業況判断(季節調整済)は大幅に改善 先行き10～12月期は悪化する一方、明年1～3月期は再び改善する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI (季節調整済)について、2020年4～6月期と比べ2020年7～9月期(前期→当期:△50→△17(+33ポイント))は大幅に改善した。また、前回調査時の予想(△23)と比べても改善している。業種別では、製造業(同:△62→△18)、非製造業(同:△44→△17)ともそれぞれ大幅に改善した。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、経済活動が落ち着いてきたことなどにより、製造業、非製造業とも業種問わず改善している。

また、売上げ BSI (同:△39→△2)、収益 BSI (同:△41→△4)も大幅に改善した。

先行きの業況判断 BSI は10～12月期予想は△26と悪化する見通しであり、過去約15年(2005年10～12月期以降)の平均(△17)よりも低い水準となっている。続く2021年1～3月期予想は△12と再び改善する見通しとなっている。

2020年7～9月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ6.0ポイント低下し、総投資額も同4.2%減の約241億円であった。業種別では、非製造業が増加した一方、製造業は減少した。先行き10～12月期の計画も、実施企業の比率は前年同期より10.0ポイント低下、総投資額は同23.1%減・約237億円の見込みである。また2021年1～3月期も、同49.5%減・約160億円の見込み。

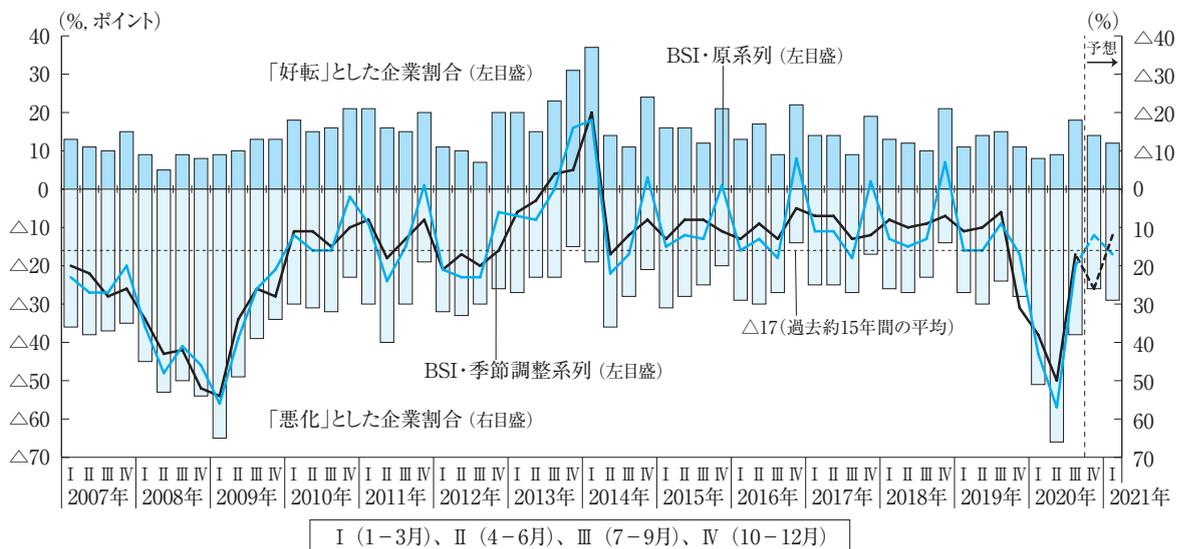
一方、今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも改善している。

1. 概況
(全業種)

【2020年7～9月期の実績】 業況判断は前期より大幅に改善

県内企業の当期(2020年7～9月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、前期と比べ、売上げBSI(△39→△2)、収益BSI(△41→△4)、業況判断BSI(△50→△17)はともに大幅に改善した。新型コロナウイルスの全国規模での感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、経済活動が落ち着いてきたことに加え、金融面での支援やさまざまな給付金などの政策の効果もあって、業況判断BSIは前回調査における予想(△23)と比べても改善している。

企業経営者による業況判断

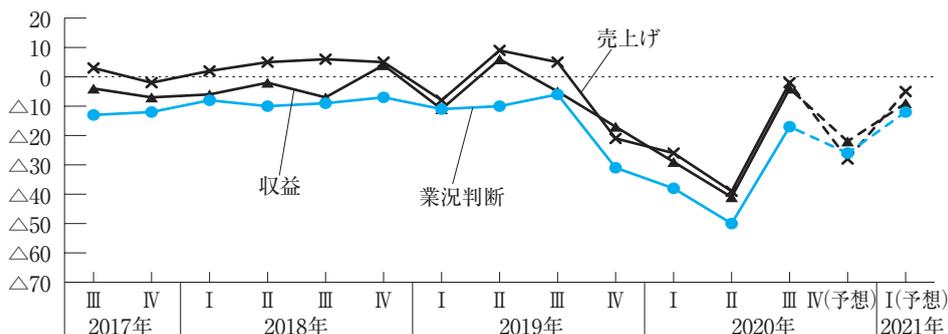


注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【2020年10～12月期・21年1～3月期の予想】 業況判断は10～12月期は悪化するも、1～3月期は再び改善の見通し

10～12月期の予想は、7～9月期に比べ売上げBSI(△2→△28)、収益BSI(△4→

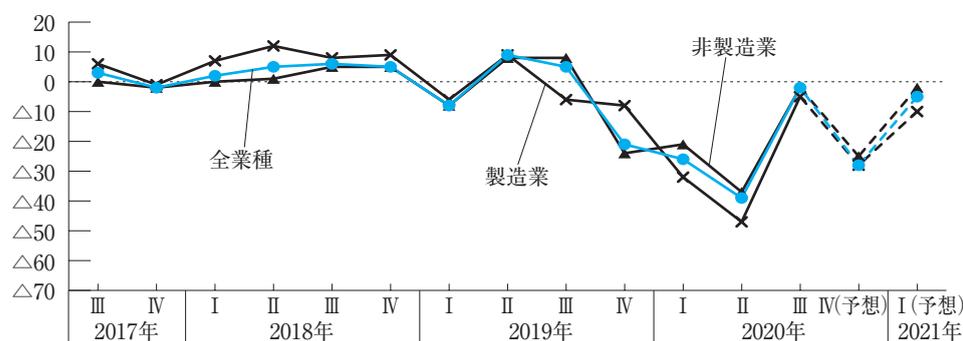
全業種 BSI



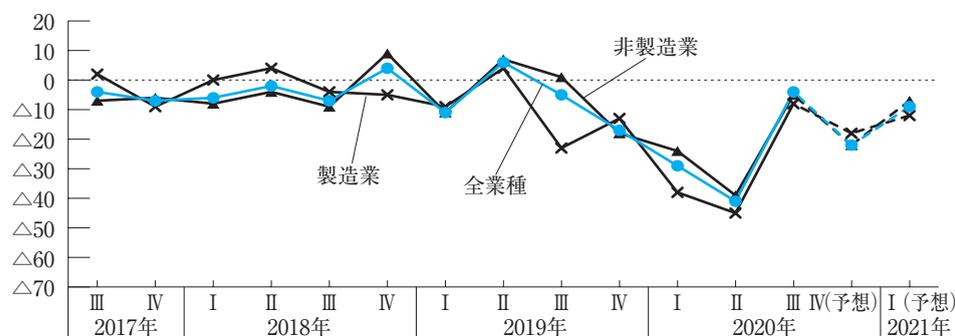
△22)、業況判断 BSI (△17→△26) はともに悪化する見通しである。なお、この業況判断 BSI は、過去約15年(2005年10~12月期以降)の平均(△17)よりも低い水準である。続く明年1~3月期は、売上げ BSI (△28→△5)、収益 BSI (△22→△9)、業況判断 BSI (△26→△12)ともに再び改善する見通しである。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けている企業経営については、海外需要の回復や「Go To キャンペーン」などの政策の効果により、自社の業況が回復に向かうと見込む企業が少なからずあるものの、感染拡大の収束が見通せない中、景気の先行きに不安感を持つ企業も見受けられる。

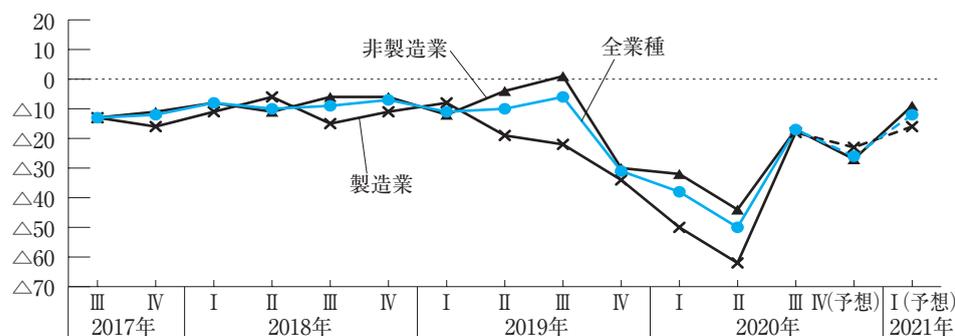
(1) 売上げ BSI



(2) 収益 BSI



(3) 業況 BSI



2. 製造業の動向

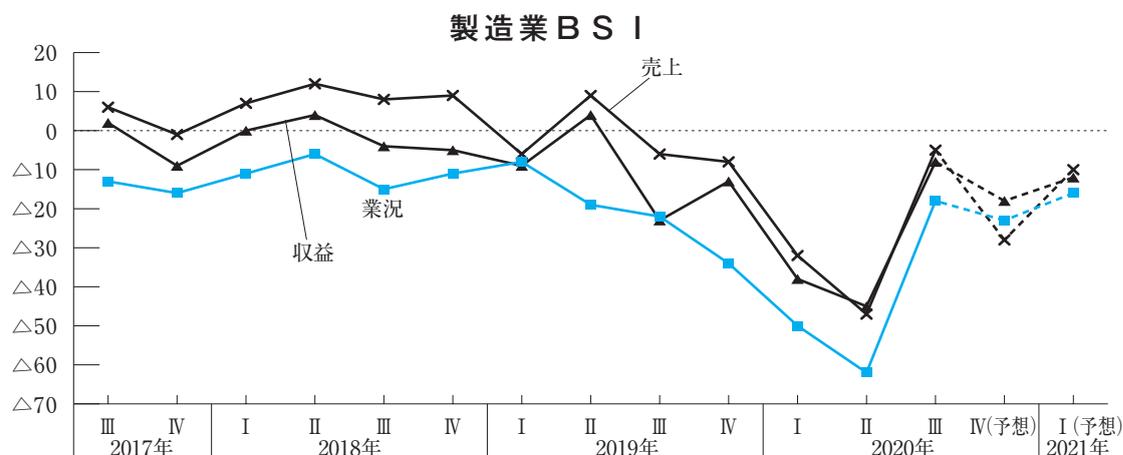
【製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI とも大幅に改善

当期は、前期と比べ、売上げ BSI ($\Delta 47 \rightarrow \Delta 5$)、収益 BSI ($\Delta 45 \rightarrow \Delta 8$)、業況判断 BSI ($\Delta 62 \rightarrow \Delta 18$) はともに大幅に改善した。業況判断 BSI については、業種全般で改善がみられており、特に機械・金属、パルプ・紙などでの改善度合いが大きいことが目立っている。

【先 行 き】 売上げ、収益、業況判断 BSI は10~12月期は悪化するも、1~3月期は再び改善の見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 5 \rightarrow \Delta 28$)、収益 BSI ($\Delta 8 \rightarrow \Delta 18$)、業況判断 BSI ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 23$) はともに悪化する見通し。続く明年1~3月期の予想は、10~12月期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 28 \rightarrow \Delta 10$)、収益 BSI ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 12$)、業況判断 BSI ($\Delta 23 \rightarrow \Delta 16$) はともに再び改善する見通し。

業況判断 BSI については、北米、中国で主に自動車需要が戻ってきていることなどにより、一部の業種でやや明るさがみられることから、自社の業況が回復すると見込む企業が少なくないことがうかがえるものの、全業種と同様に景気の先行き不透明感が強いと考える企業も少なからずある。



3. 非製造業の動向

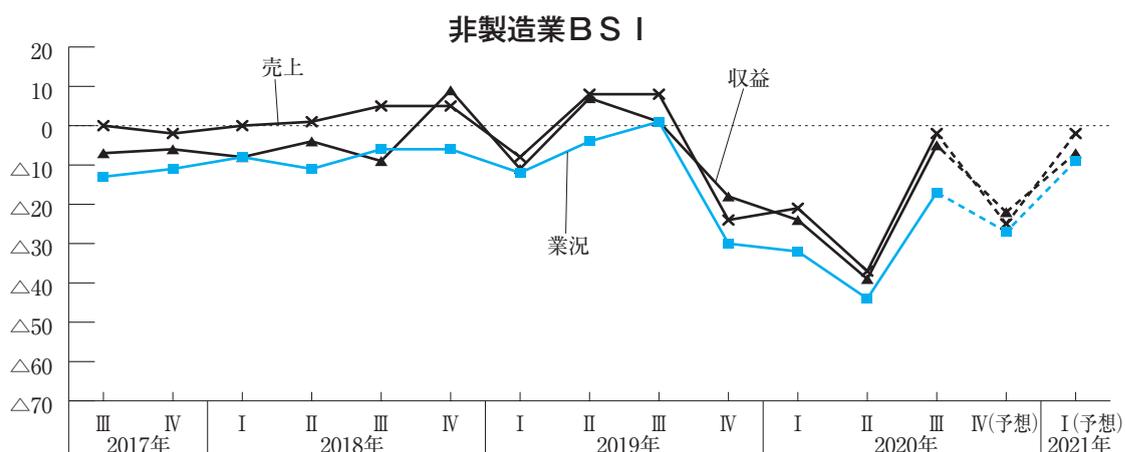
【非製造業の現状】 売上げ、収益、業況判断 BSI とも大幅に改善

当期は、前期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 37 \rightarrow \Delta 2$)、収益 BSI ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 5$)、業況判断 BSI ($\Delta 44 \rightarrow \Delta 17$) はともに大幅に改善した。業況判断 BSI については、各業種で改善がみられ、特に建設業やサービス業などでの改善度合いが大きいことが目立っている。

【先行き】 売上げ、収益、業況判断 BSI は10~12月期は悪化の一方、1~3月期は再び改善の見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI ($\Delta 2 \rightarrow \Delta 25$)、収益 BSI ($\Delta 5 \rightarrow \Delta 22$)、業況判断 BSI ($\Delta 17 \rightarrow \Delta 27$) はともに悪化する見通しである。一方明年1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げ BSI ($\Delta 25 \rightarrow \Delta 2$)、収益 BSI ($\Delta 22 \rightarrow \Delta 7$)、業況判断 BSI ($\Delta 27 \rightarrow \Delta 9$) はともに再び改善する見通しである。

業況判断 BSI をみると、「Go To キャンペーン」などの政策の効果により、個人消費の一部に持ち直しの動きがみられることもあり、1~3月期には当期を上回る水準まで回復する見込みである一方で、新型コロナウイルス感染の再拡大を警戒し、今後の先行きに不安感を持つ企業も少なくないことが見受けられる。

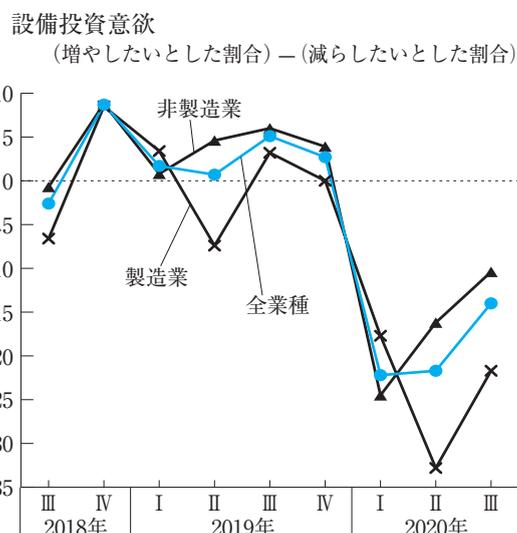


4. 設備投資の動向

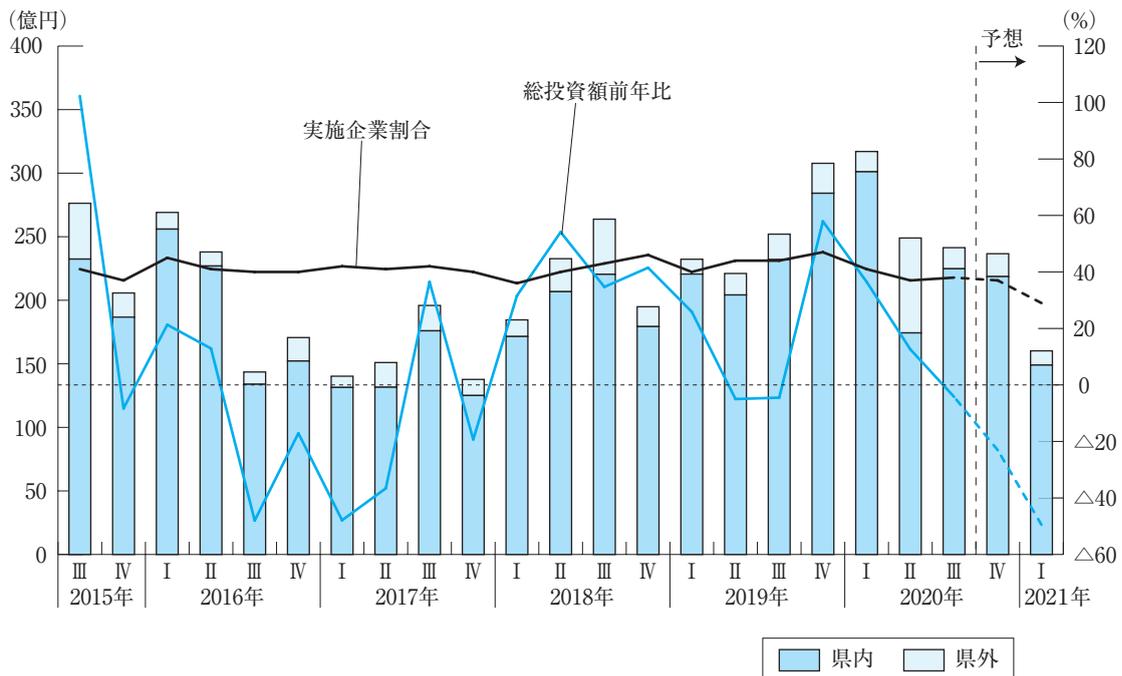
回答企業（全産業）のうち、2020年7~9月期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の38.4%、総投資額は241億39百万円（県内投資額は224億78百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、非製造業が増加する一方、製造業は減少しており、全体で4.2%減となった(前期比3.1%減)。また、実施企業の割合は、6.0ポイント低下となった。

先行きの計画をみると、10~12月期の実施企業割合は36.8%で前年同期より10.0ポイント低下、総投資額は約237億円で前年同期比23.1%減となる見込み。また、明年1~3月期の総投資額も、約160億円で同49.5%減の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が14.6%、「減らしたい」が28.6%、「ほぼ変わらない」が56.8%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（ $\Delta 14.0$ ポイント）は、前期（ $\Delta 21.7$ ポイント）から改善しているものの、前年と比べると水準は低くとどまっており、設備投資を抑制する向きが続いていることが示されている。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、45.0%で前年同期より10.6ポイント低下した。総投資額は、203億91百万円(前年同期232億60百万円)で、化学やパルプ・紙の一部で減少したことを主因に前年同期比12.3%減となった。うち、県内投資額は192億32百万円(同215億68百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率が上昇した反面、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」は低下した。

先行きの計画をみると、10～12月期の総投資額は約220億円で前年同期比21.2%減、続く明年1～3月期は約144億円で同49.3%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(13.3%)とする企業割合が「減らしたい」(35.0%)を21.7ポイント下回ったものの、この差は前期より11.1ポイント縮小した。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、35.2%で前年同期より3.9ポイント低下した。総投資額は、37億48百万円(前年同期19億43百万円)で、一部のサービス業の大幅な増加を主因に前年同期比92.9%増となった。県内投資額は32億46百万円(同16億31百万円)となっている。

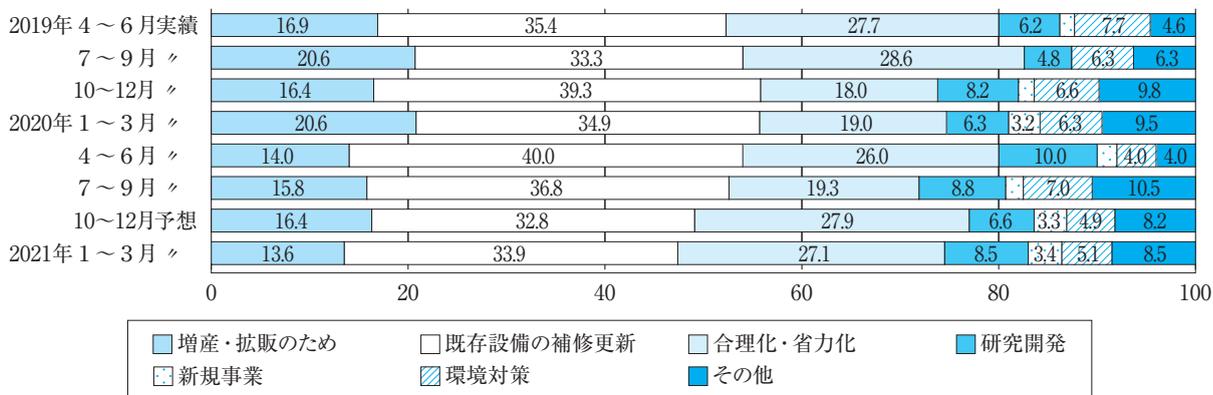
目的別にみると、前期と比べ、「合理化・省力化」が低下した一方、「拡販のため」、「既存設備の補修更新」でそれぞれ上昇がみられた。

先行きの計画をみると、10～12月期の総投資額は約17億円で前年同期比41.5%減、続く明年1～3月期も約16億円で同50.6%減と減少が続く見込みである。

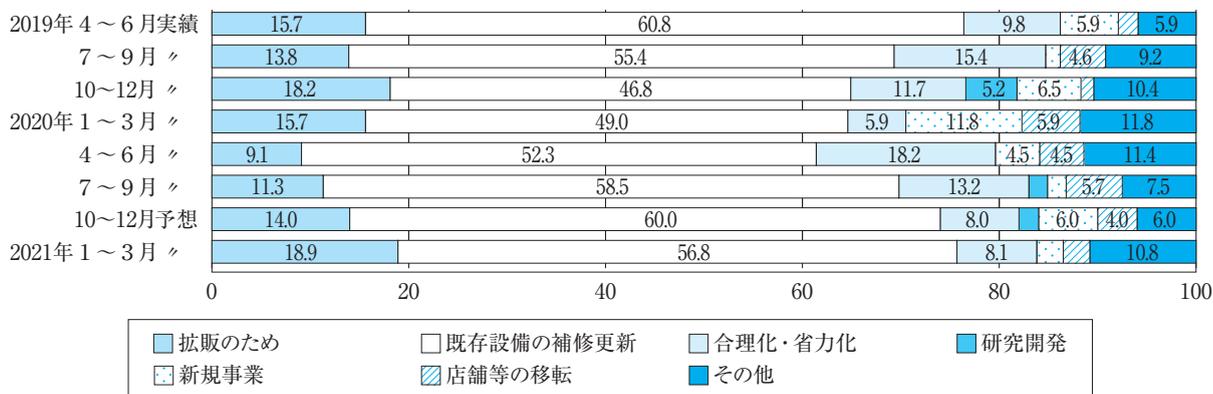
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」(15.2%)とする企業割合が「減らしたい」(25.6%)を10.4ポイント下回ったものの、この差は2期連続で縮小した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	2	0	2
	5～10百万円未満	4	1	3
	10～50百万円未満	104	29	75
	50～1億円未満	48	19	29
	1億円以上	27	11	16
	計	185	60	125
従業員数	10人未満	17	3	14
	10～30人未満	41	14	27
	30～50人未満	32	8	24
	50～100人未満	38	7	31
	100～200人未満	25	10	15
	200～300人未満	14	8	6
	300～	18	10	8
計	185	60	125	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		10
	繊維製品		4
	木材・木製品		8
	パルプ・紙		3
	化学工業		8
	窯業・土石		5
	機械・金属		14
	その他		8
	計		60
非製造業	建設業		17
	運送業		13
	卸売業		35
	小売業		23
	サービス業		36
	その他		1
計		125	
総数		185	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2019年1～3月実績	11	62	27	△16	△11	12	62	26	△14	△8	12	60	28	△16	△12
4～6月々	14	56	30	△16	△10	9	63	28	△19	△19	17	52	31	△14	△4
7～9月々	15	61	24	△9	△6	8	57	35	△27	△22	19	61	20	△1	1
10～12月々	11	61	28	△17	△31	8	60	32	△24	△34	12	62	26	△14	△30
2020年1～3月々	8	41	51	△43	△38	5	35	60	△55	△50	10	44	46	△36	△32
4～6月々	9	25	66	△57	△50	8	22	70	△62	△62	9	28	63	△54	△44
7～9月々	18	44	38	△20	△17	20	37	43	△23	△18	18	46	36	△18	△17
10～12月予想	14	60	26	△12	△26	17	53	30	△13	△23	13	63	24	△11	△27
2021年1～3月々	12	59	29	△17	△12	12	55	33	△21	△16	13	61	26	△13	△9

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2019年1～3月実績	24	36	40	△16	△8	21	36	43	△22	△6	26	35	39	△13	△8
4～6月々	32	35	33	△1	9	33	41	26	7	9	31	32	37	△6	8
7～9月々	28	45	27	1	5	22	48	30	△8	△6	31	44	25	6	8
10～12月々	32	38	30	2	△21	36	40	24	12	△8	30	37	33	△3	△24
2020年1～3月々	17	32	51	△34	△26	13	26	61	△48	△32	20	34	46	△26	△21
4～6月々	15	20	65	△50	△39	18	15	67	△49	△47	13	23	64	△51	△37
7～9月々	32	30	38	△6	△2	35	23	42	△7	△5	32	32	36	△4	△2
10～12月予想	24	47	29	△5	△28	28	37	35	△7	△28	22	52	26	△4	△25
2021年1～3月々	17	53	30	△13	△5	12	50	38	△26	△10	19	55	26	△7	△2

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2019年1～3月実績	22	40	38	△16	△11	19	43	38	△19	△9	23	39	38	△15	△11
4～6月々	29	39	32	△3	6	30	40	30	0	4	28	39	33	△5	7
7～9月々	25	42	33	△8	△5	16	43	41	△25	△23	29	42	29	0	1
10～12月々	28	44	28	0	△17	29	44	27	2	△13	27	44	29	△2	△18
2020年1～3月々	14	38	48	△34	△29	8	36	56	△48	△38	17	39	44	△27	△24
4～6月々	14	22	64	△50	△41	16	19	65	△49	△45	12	25	63	△51	△39
7～9月々	31	31	38	△7	△4	33	25	42	△9	△8	30	35	35	△5	△5
10～12月予想	23	49	28	△5	△22	28	41	31	△3	△18	20	53	27	△7	△22
2021年1～3月々	16	54	30	△14	△9	13	52	35	△22	△12	17	56	27	△10	△7

(注) B S I = (好転) - (悪化)